

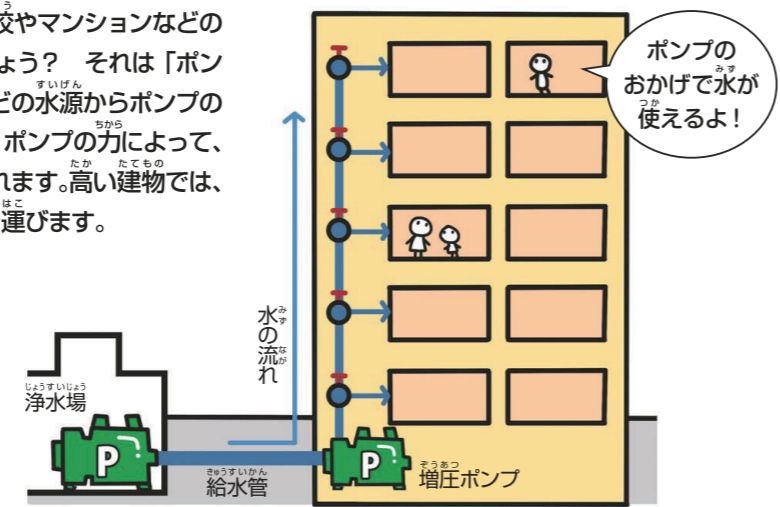
# 水は誰が運んでくれるの？



みんなも毎日の暮らしで水を使っているよね。蛇口をひねれば水が出てきて、手を洗ったりシャワーを浴びたり。でも、その水ってどうやって運ばれるんだろう？ 荏原製作所に教えてもらったよ。

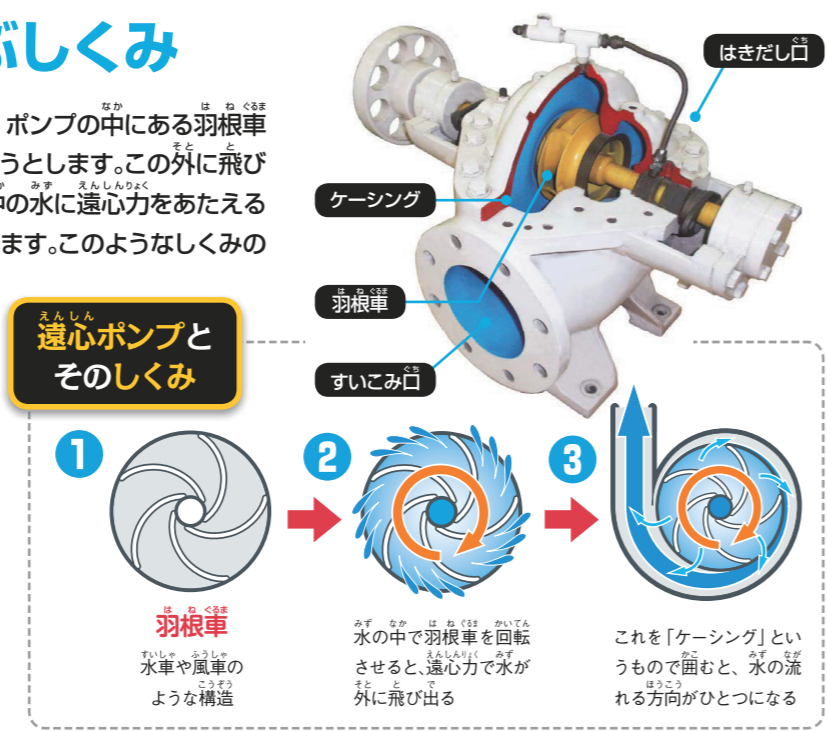
## A 水を運んでいるのはポンプだよ。

水は高いところから低いところへ流れます。では、学校やマンションなどの高いところでも、トイレやお風呂が使えるのはなぜでしょう？ それは「ポンプ」が活躍しているからです。毎日使っている水は、川などの水源からポンプの力で浄水場に運ばれます。浄水場できれいになった水は、ポンプの力によって、浄水場から給水管を通してみんなの家や学校に届けられます。高い建物では、地下から水をくみ上げるポンプを使って上の階まで水を運びます。



## 遠心ポンプが水を運ぶしくみ

ぬれた傘を回すと水がまわりに飛び散るように、ポンプの中にある羽根車が勢いよく回ると、ポンプの中の水は外に飛び出そうとします。この外に飛び出そうとする力を「遠心力」といいます。ポンプの中の水に遠心力をあたえると「圧力」が高まり、はきだし口に向かって水が流れます。このようなしくみのポンプを「遠心ポンプ」といいます。



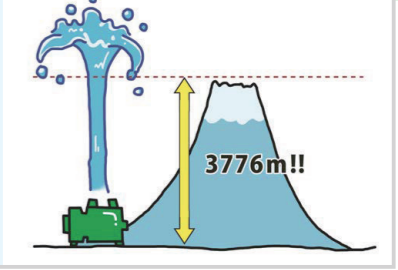
## みんなのまわりにはポンプがいっぱい！

水は人々の生活にかかせません。水はいろんなところで使われているので、その水を運ぶポンプもあらゆるところで使われています。ポンプは365日、休むことなく水を送り続けています。

## ポンプの力で、富士山よりも高く水を上げられる!?



製鉄所では水を高い圧力で送る「高圧ポンプ」が使われています。なかでもすごい高圧ポンプは、その圧力を高さに変えて計算してみると、なんと4000m以上！富士山を軽く超える高さです。ポンプの力に驚きますね。



## ポンプは縁の下で力持ち！みんなの暮らしを支えています

答えてくれた人 荏原製作所 風水力機械カンパニー 標準ポンプ事業部 藤沢工場生産管理第一課 川口愛稀さん

荏原では、100年以上前から、さまざまなポンプを作り続けています。ポンプができるまでには、調査、研究、設計、加工、試験や検査など多くの工程があり、完成するまで長い時間がかかることもあります。でも、そのおかげでみなさんに信頼していただけるポンプができあがります。故障しないで安心して使える荏原のポンプは、日本だけでなく世界中からも求められています。荏原のポンプは「縁の下で力持ち」として、これからもみなさんの暮らしを支えます。



私たちが作っている標準ポンプは国内シェアトップです！